



## 武中女子駅伝 全国中学校駅伝大会第15位 雪の舞う中粘り強い走り

昨年12月19日、山口県山口市で全国中学校駅伝大会が行われ、県代表の武蔵ヶ丘中学校が5区間12kmのコースを42分54秒で走り、全国で15位と健闘しました。

武蔵ヶ丘中学校は県大会と同じメンバーで全国大会に挑戦。スタート時は、雪の舞う悪コンディションのため、選手たちは体に馬油を塗って防寒対策を施しましたが、予想以上に厳しい寒さでした。

吉田優香さんが全国のエースがそろそろ1区で21位につけると、続く2区ではキャプテンの神田真奈美さんが県大会後足首を痛めていたものの23位に食らいつき、3区の柿原亜紀さんが20位まで浮上させました。4区の藤田和見さんが24位で健闘すると、5区アンカーの一紋野女さんが区間2位の快走を見せ、9人を抜き去りチームを15位に押し上げました。



▲全国大会に出場した武蔵ヶ丘中の選手の皆さん

### 【武蔵ヶ丘中女子駅伝チームの成績】

- 県中学校駅伝競争大会(平成21年11月17日)……優 勝
- 九州中学校駅伝競走大会(平成21年12月5日)… 準優勝
- 全国中学校駅伝大会(平成21年12月19日)……… 15 位

## 西小2年生探検隊 農業にチャレンジ!!

菊陽西小学校の2年生は、中村農園の中村誠喜さん、君代さん(境の松)の指導のもと、ハウレン草と水菜作りに挑戦しています。

12月10日は、野菜づくりの先生、中村さんのハウスを探検。児童たちは、ハウレン草や水菜の栽培方法、初めて見るパッションフルーツに興味津々で、質問が後を絶ちませんでした。



▲ハウレン草の栽培方法を学ぶ児童たち

## 盛大ににぎわう 西小学校どんどや

1月10日、菊陽西小学校グラウンドでどんどやが行われ、西小の児童、保護者、地域住民などが大勢参加し、にぎわいをみせました。

子どもたちは、種火でどんどやに点火すると、勢いよく燃える様子を見たり、残り火でもちを焼いて食べたりと楽しんでいました。

松岡教頭先生は「地域に残っている伝統行事などを中心に交流が深まるのはうれしい」と語ってくれました。



▲高く燃えさかるどんどや

## 全国高校駅伝 九州学院5位入賞 本町出身の久保田和真さんがアンカーで区間賞

昨年12月20日、京都府で全国高校駅伝競走大会が行われ、九州学院が7区間42.195kmを2時間5分7秒で5位入賞。本町出身の久保田和真さん(緑ヶ丘)が最終7区(5km)で区間賞を飾りました。

久保田さんは、「先輩たちがなんとかしてくれるという信頼があったので、気負いせず楽な気持ちで走れた」と振り返り、「全国で5位だったがまだまだ満足していない。優勝を目指してこれからも頑張っていきたい」と意気込みを語ってくれました。



▲九州学院高校1年生アンカーの久保田和真さん

## にんじんの葉っぱまで 丸ごとホットケーキ!

昨年12月15日、菊陽町生活研究グループ会長である古田朱実さん(新山)が、光の森キャロット保育園の園児を対象にグリーンホットケーキ作りを行いました。

古田さんは、菊陽にんじんをもっとPRしたいという思いから、にんじんの葉までまるごと使ったグリーンホットケーキを考案されました。

園児たちは自分で収穫した菊陽にんじんを自分で料理するということもあり、にんじんが苦手な子にも大好評でした。



▲グリーンホットケーキを作る園児たち

## そば打ちに挑戦! 馬場楠子ども会

昨年12月20日、馬場楠公民館に地区住民約60人が集まり、そば打ちが行われました。老人会・子ども会が地域の耕作放棄地にそばを植え、収穫したものでそばを作るという初めての試みに挑戦。

子どもたちは、「石うす」でそばの実を白い粉になるまですりつぶし、包丁で麺の太さに切るなど、自ら積極的に体験していました。

できあがったそばは、太さがまちまちのとても手作り感のあるそばになり、子どもたちはおいしそうにほお張っていました。



▲石うすでそばの実をすりつぶす子どもたち

## 1年間お世話になりました 中央公民館大掃除

昨年12月21日、「環境美化運動」の一環として、中央公民館と役場周辺の大掃除が行われました。

この取り組みは、中央公民館で講座を受講している受講生が毎年年末に行っているものです。今回は、初めて町民会議員とボランティアとして婦人会からの参加もあり、約50人が活動しました。

参加者は、「普段掃除が行き届かない所まで掃除できる。習っているところをキレイにするのはいい取り組みだと思う」と笑顔で話してくれました。



▲中央公民館のごみをほうきで掃く講座受講生